

全般季節予報支援資料 1か月予報

2024年5月9日

予報期間：5月11日～6月10日

この資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する季節予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

特に注意を要する事項

北・東・西日本では、期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。

出現の可能性が最も大きい天候

北・西日本では、天気は数日の周期で変わるでしょう。

東日本日本海側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

東日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。

沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

全般1か月予報

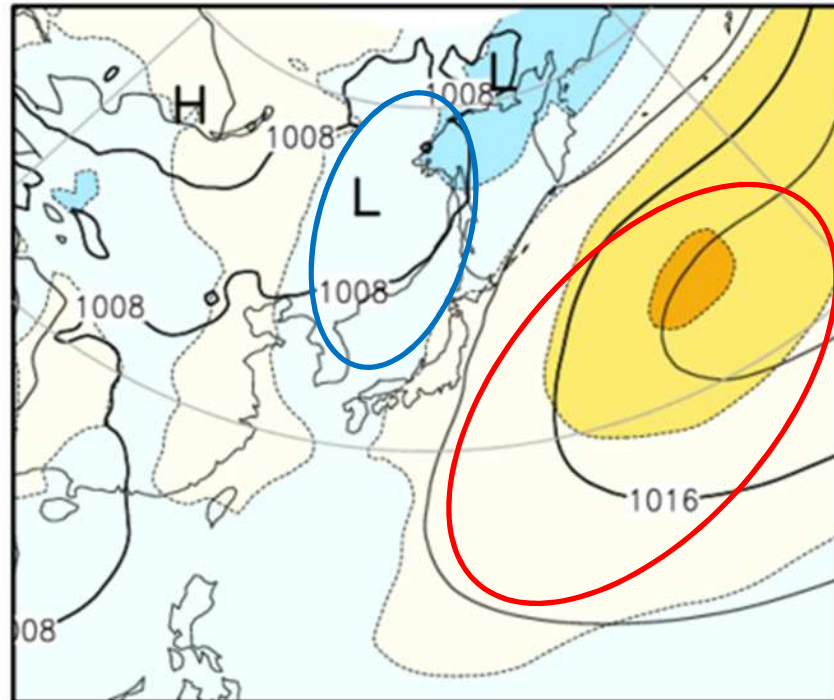
1か月		気温(%)	降水量(%)	日照時間(%)	降雪量(%)
		低並高	少並多	少並多	少並多
北日本	日本海側	10:20:70	20:40:40	30:40:30	
	太平洋側		20:40:40	30:40:30	
東日本	日本海側	10:10:80	20:30:50	40:30:30	
	太平洋側		20:30:50	40:40:20	
西日本	日本海側	10:10:80	20:40:40	30:40:30	
	太平洋側		20:40:40	30:40:30	
沖縄・奄美		10:20:70	30:30:40	30:40:30	

気温	1週目(%)	2週目(%)	3~4週目(%)
	低並高	低並高	低並高
北日本	10:10:80	10:10:80	20:30:50
東日本	10:10:80	10:10:80	10:30:60
西日本	10:20:70	10:10:80	10:30:60
沖縄・奄美	10:40:50	10:30:60	10:30:60

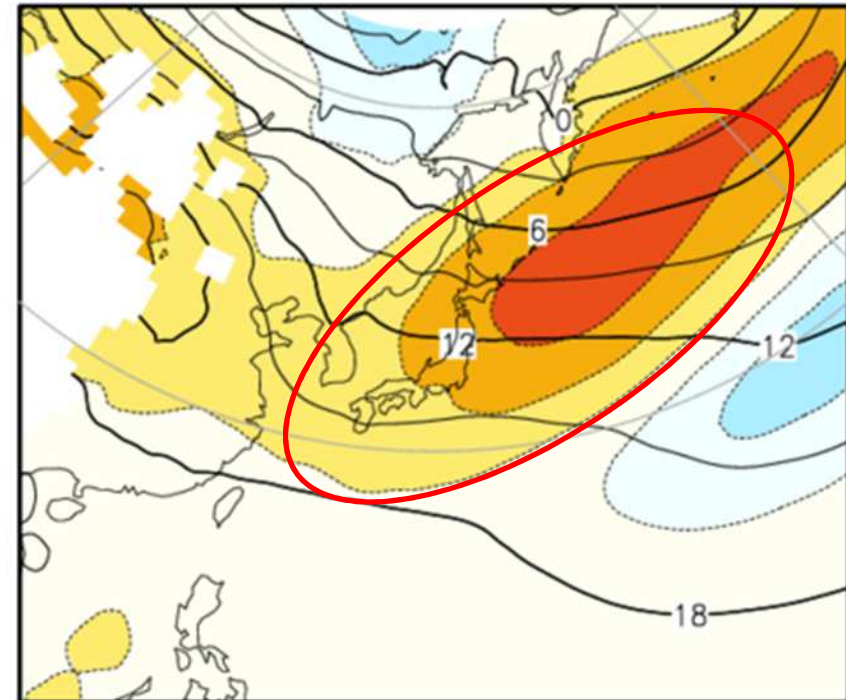
全般予報のポイント

- 暖かい空気が流れ込みやすいため、向こう1か月の気温は全国的に高いでしょう。特に、北・東・西日本では期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。
- 北日本では、低気圧や前線の影響を受けやすい時期があるため、向こう1か月の降水量は平年並か多いでしょう。
- 東・西日本では、前線や湿った空気の影響を受けやすい時期があるため、向こう1か月の降水量は東日本で多く、西日本で平年並か多いでしょう。向こう1か月の日照時間は東日本太平洋側で平年並か少ないでしょう。

地上気圧(1か月)



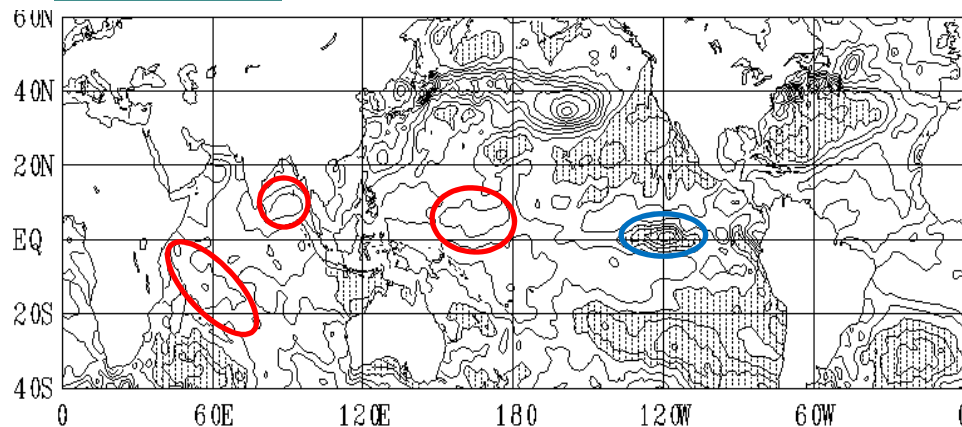
上空約1500mの気温(1か月)



1か月平均の地上気圧(左図)は、日本の東の高気圧が強く、東・西日本を中心に高気圧の縁辺を回る湿った空気の影響を受けて多雨となる時期がある見込みです。また、中国東北区には低気圧があり、北日本を中心に低気圧や前線の影響を受けやすい時期がある見込みです。

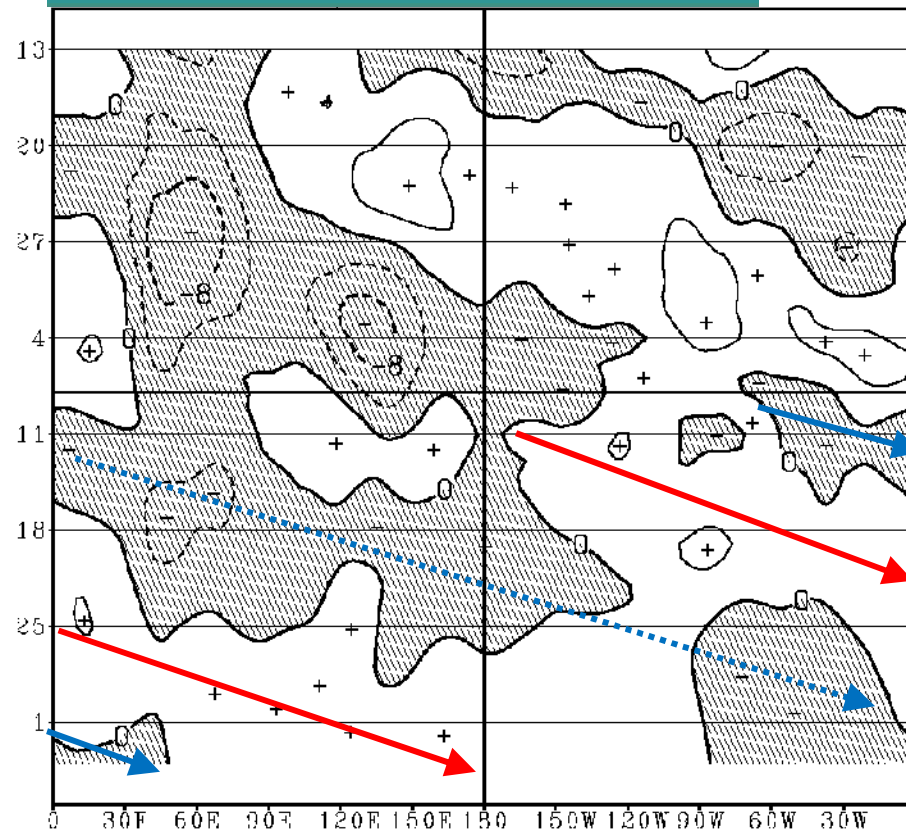
上空約1500mの気温(右図)は、日本付近は平年より高く、南から暖かい空気が流れ込みやすい見込みです。

SST偏差



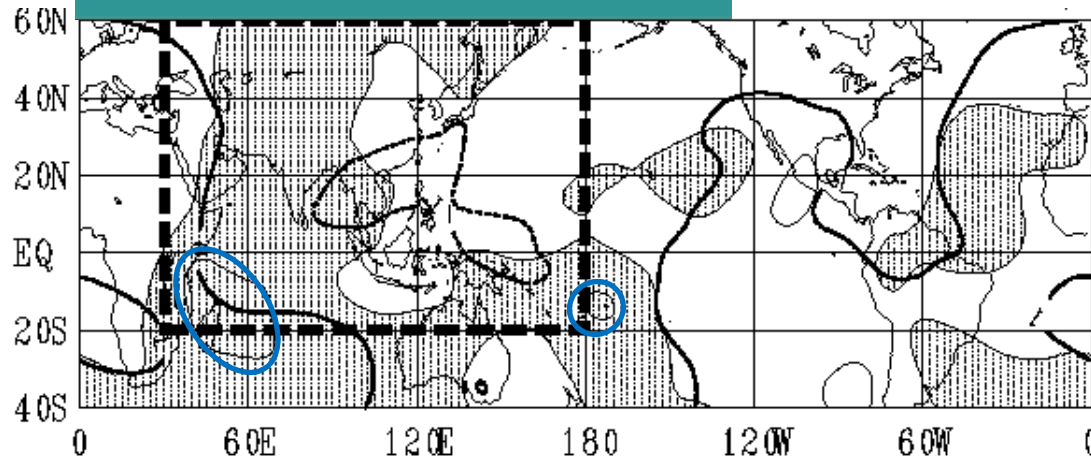
太平洋赤道域は日付変更線の西を中心に正偏差だが、東部には負偏差も見られる。
インド洋熱帯域は西部とベンガル湾を中心に正偏差。

200hPa速度ポテンシャル偏差



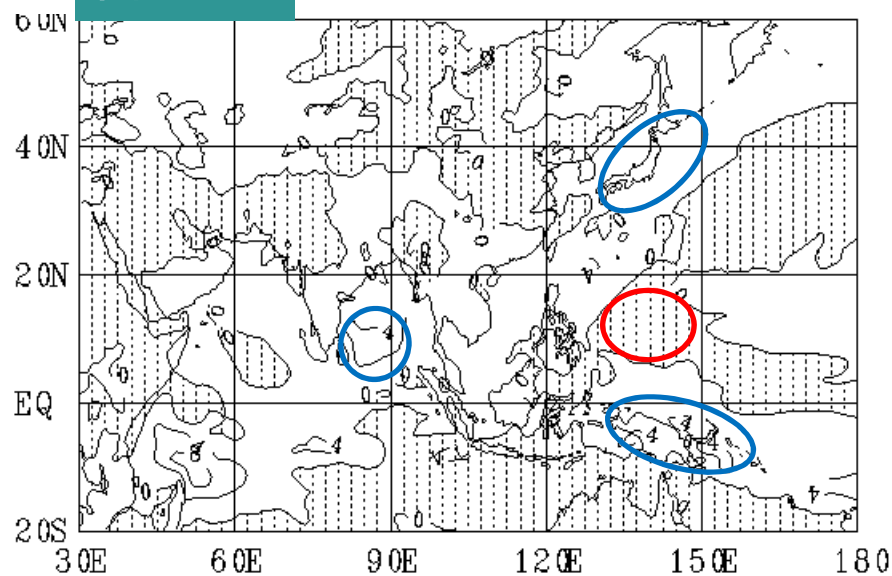
MJOの対流活発域の東進が速く、2週目にかけてと4週目にインド洋西部で対流活発となる。

200hPa速度ポテンシャル



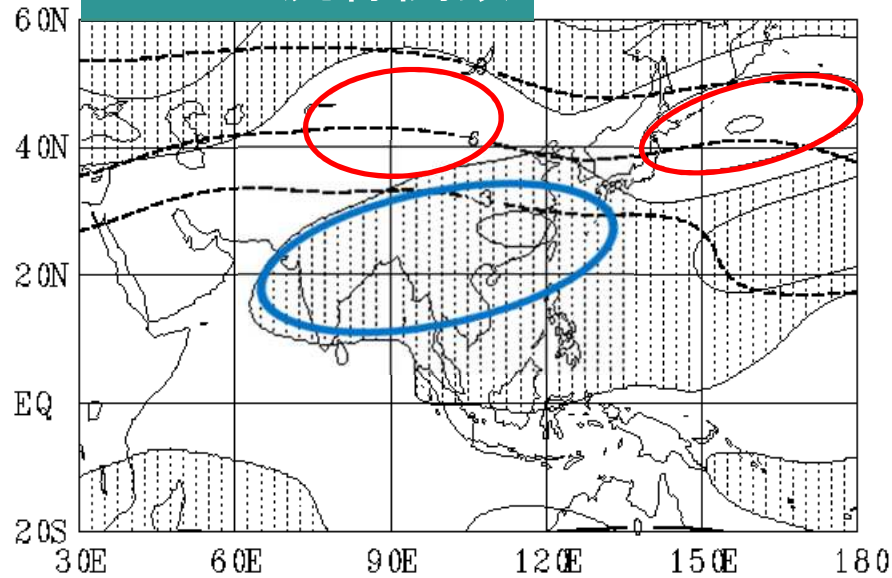
赤道域ではインド洋西部と日付変更線の東で上層発散偏差で、南半球中心。

降水量



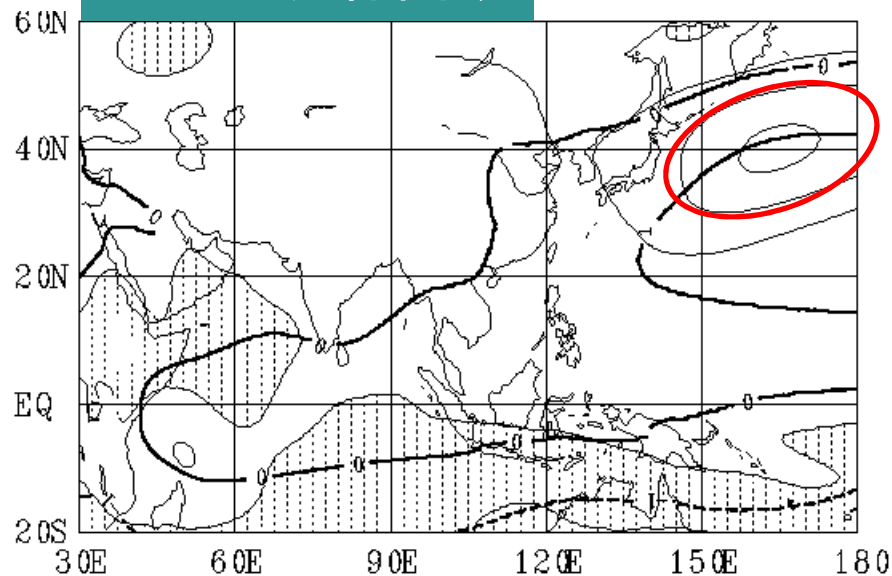
ニューギニア付近とベンガル湾で多雨偏差、フィリピンの東で少雨偏差。北・東・西日本は多雨偏差。

200hPa流線関数



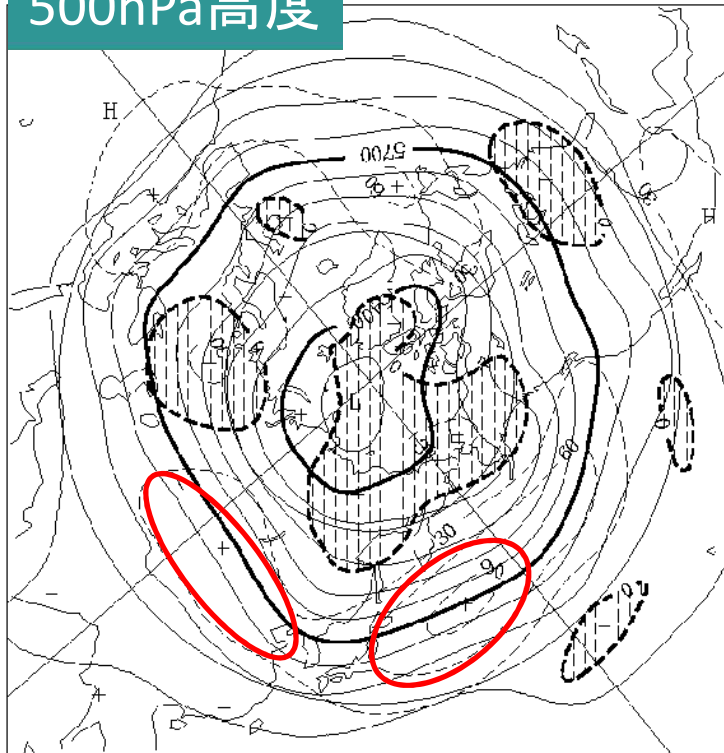
華南を中心に低気圧性循環偏差。中央アジアと日本の東は高気圧性循環偏差。

850hPa流線関数



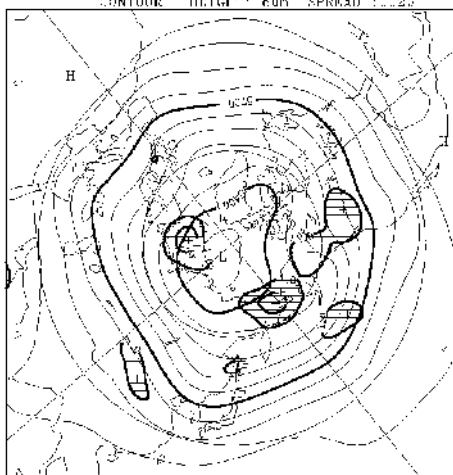
上層の高気圧性循環偏差に対応して、日本の東は強い高気圧性循環偏差。

500hPa高度

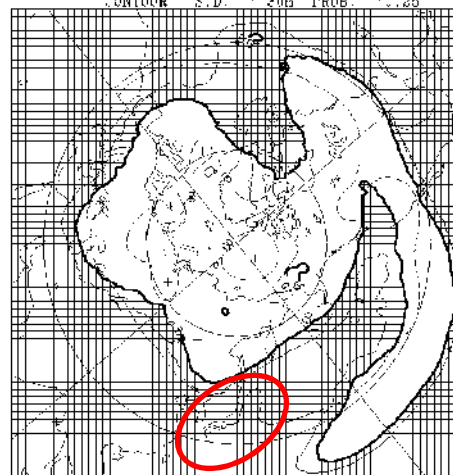


500hPa SPREAD AND HEIGHT

PROB. OF H. ANOMALY AND S.D.



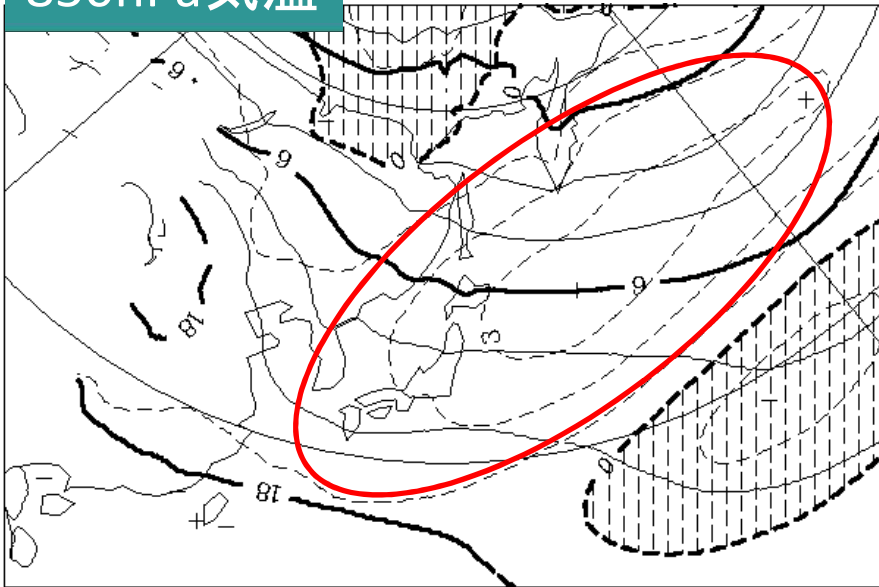
CONTOUR HEIGHT: 40m SPREAD: 0.25



CONTOUR S.D.: 30m PROB: 0.25

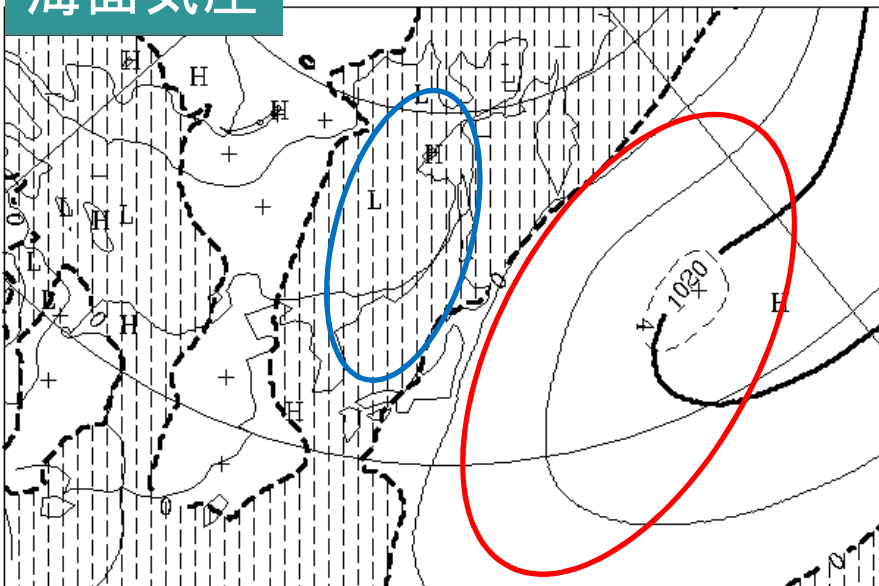
日本のはるか東とバイカル湖の南を中心に正偏差に覆われる。日本付近は東西に伸びる正の高偏差確率の大きな領域に覆われる。

850hPa気温



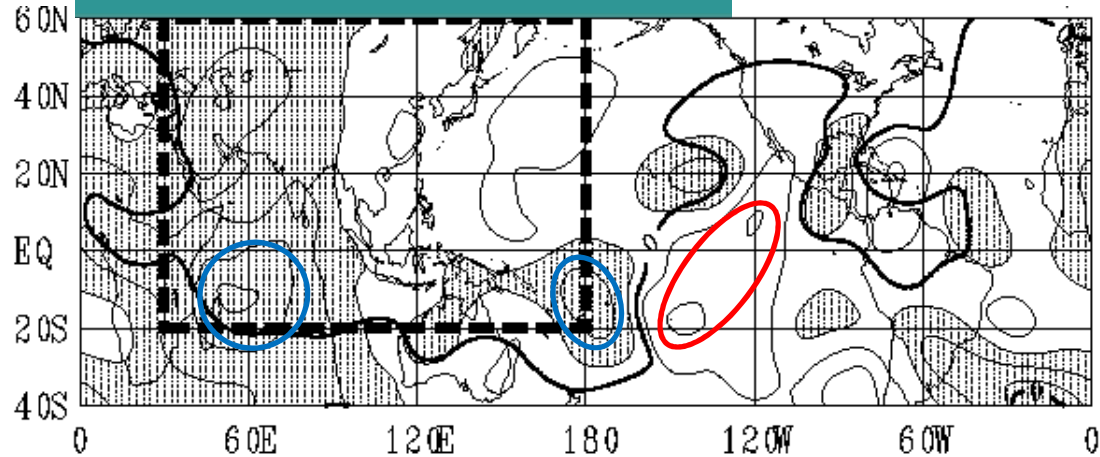
日本付近は高温偏差に覆われる。

海面気圧



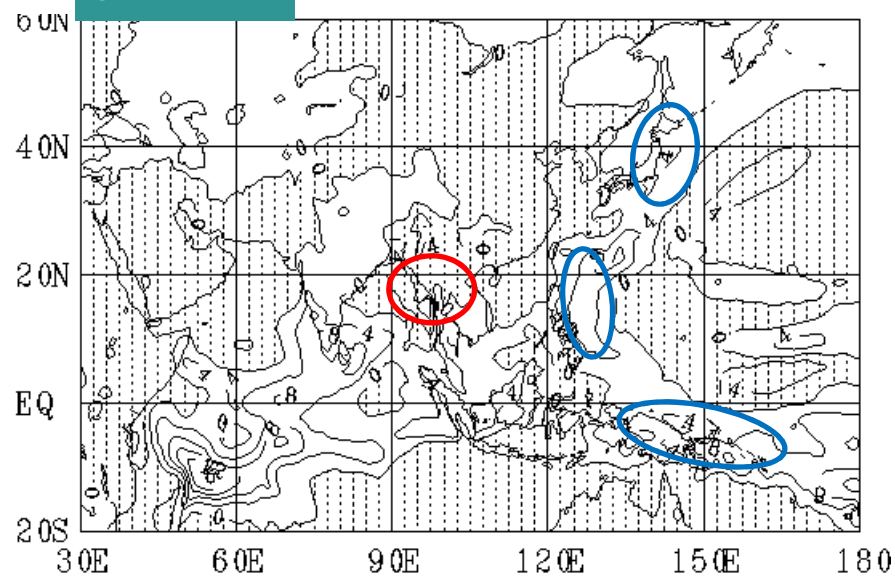
日本の東の高気圧が強く、東・西日本を中心に高気圧の縁辺を回る湿った空気の影響を受けて多雨となる時期がある見込み。また、中国東北区には低気圧があり、北日本を中心に低気圧や前線の影響を受けやすい時期がある見込み。

200hPa速度ポテンシャル



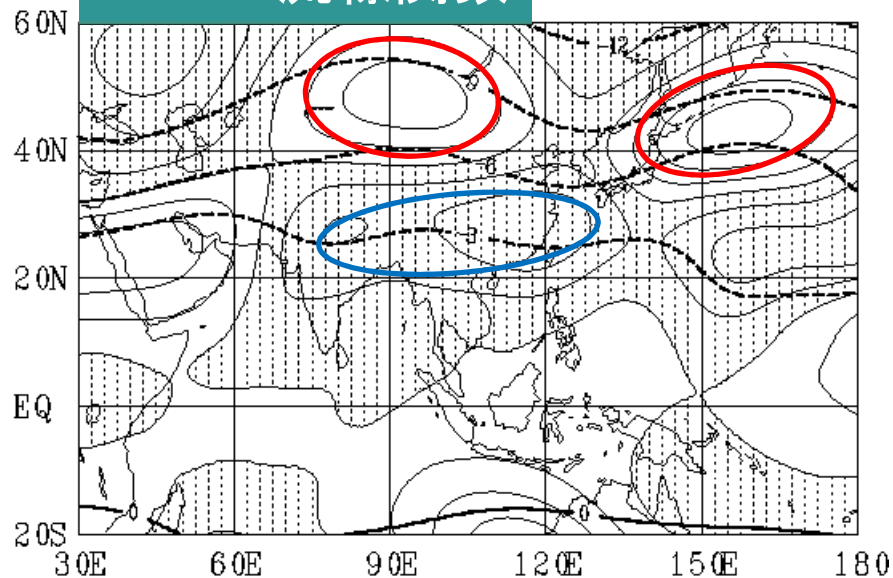
熱帯域では、インド洋西部と日付変更線付近で上層発散偏差、太平洋東部で上層収束偏差で、いずれも南半球寄り。

降水量



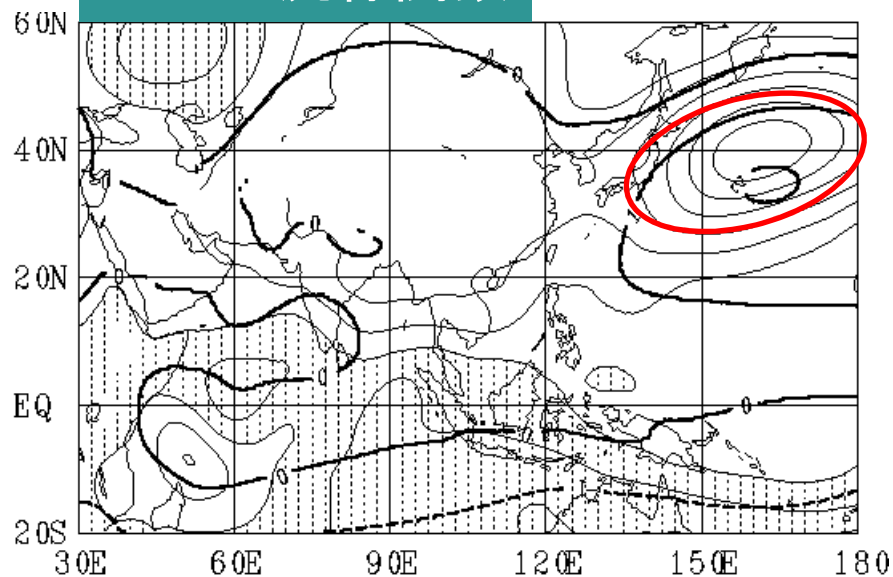
ニューギニア付近とフィリピンの東で多雨偏差。インドシナ半島は少雨偏差。日本付近は北・東日本で多雨偏差。

200hPa流線関数



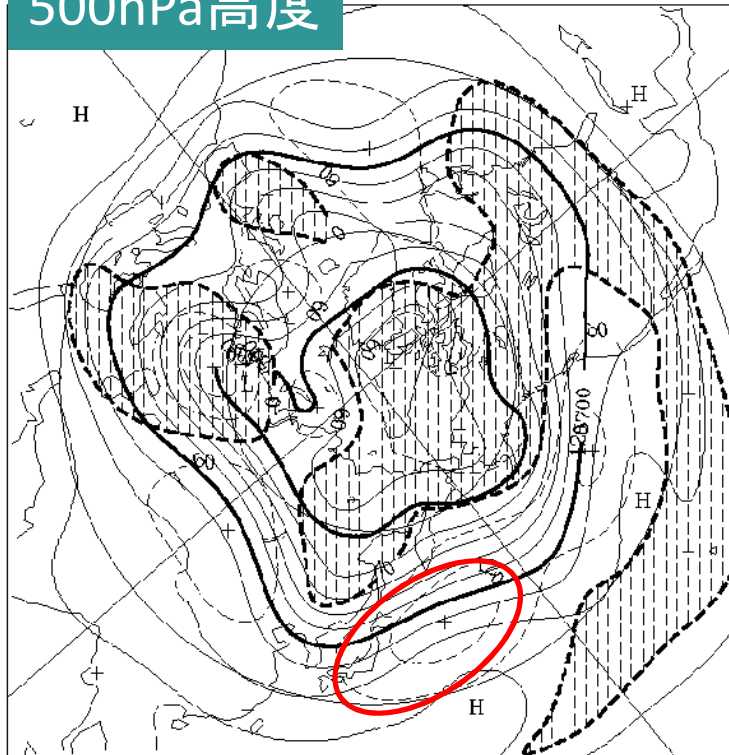
チベット付近と華南付近を中心に低気圧性循環偏差。中央アジアと日本の東は高気圧性循環偏差。

850hPa流線関数



日本の東は強い高気圧性循環偏差。

500hPa高度

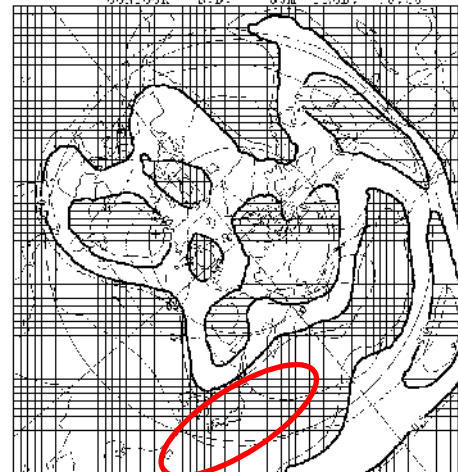
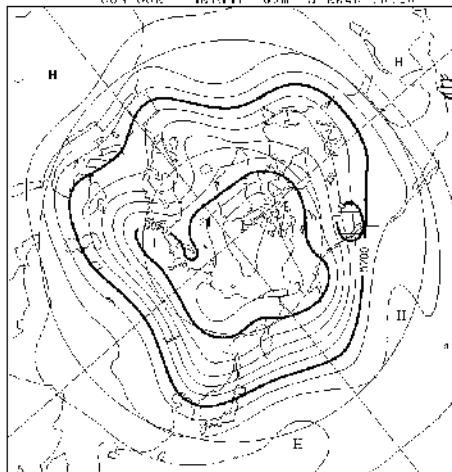


500hPa SPREAD AND HEIGHT

PROB. OF H. ANOMALY AND S.D.

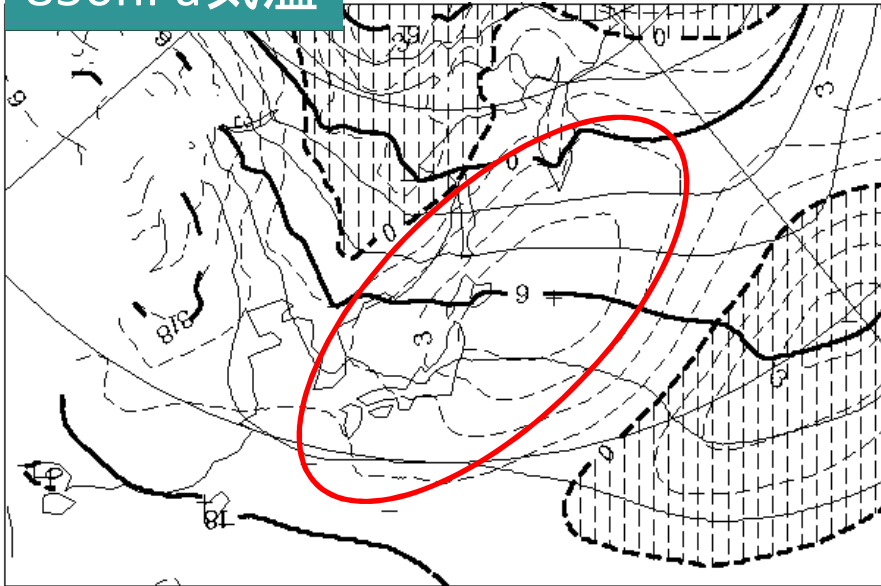
CONTOUR HEIGHT: 63m SPREAD: 0.20

CONTOUR S.D.: 33m CORR: +0.23



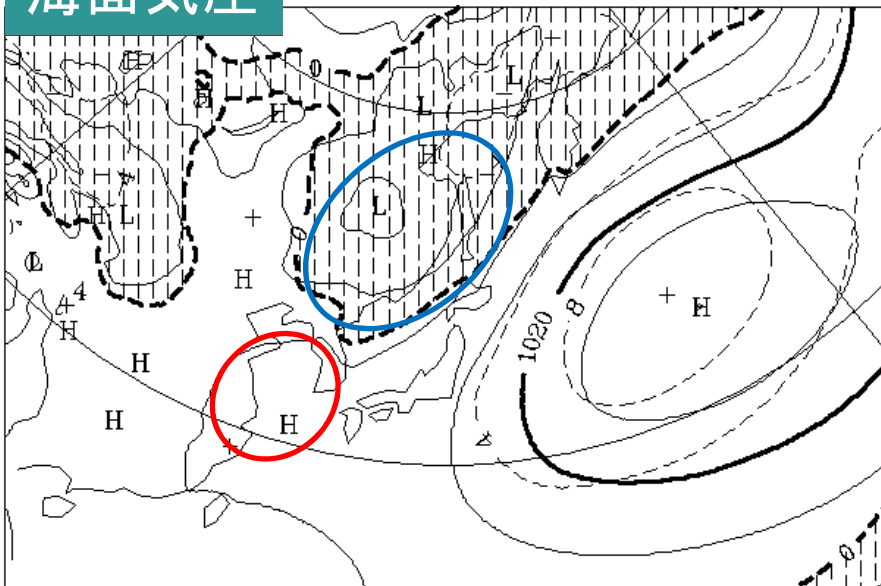
日本の東は強い正偏差。日本付近は西谷。日本付近は正の高偏差確率の大きい領域に覆われる。

850hPa気温



北・東日本を中心に高温偏差に覆われる。

海面気圧



週間予報も考慮すると、北・東・西日本の天気は数日の周期で変わるが、北・東日本は低気圧や前線の影響を受ける時期がある。西日本は高気圧に覆われる時期もある。沖縄・奄美は湿った空気の影響を受ける時期がある。

想定される天候

- 北日本と東日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。
- 東日本日本海側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
- 西日本では、天気は数日の周期で変わりますが、高気圧に覆われやすく、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。
- 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

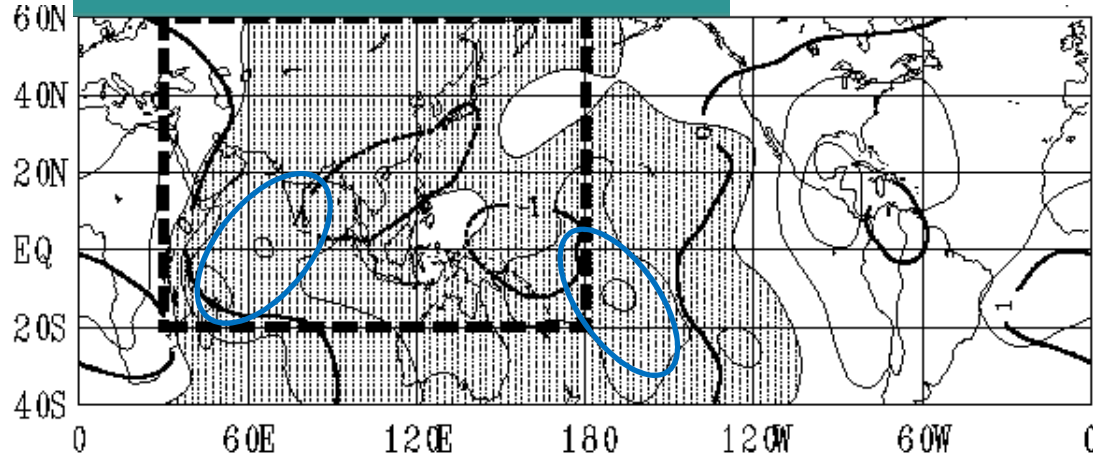
<気温>

暖かい空気が流れ込みやすいため、全国で高温。北・東日本では気温がかなり高くなる見込み。

<天候>

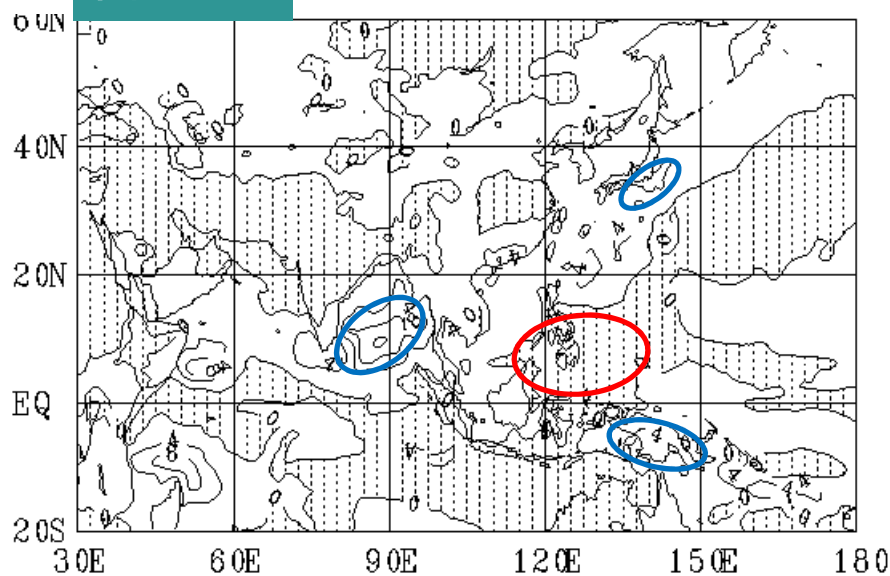
北・東・西日本の天気は数日の周期で変わるが、13日頃に北・東日本を低気圧や前線が通過するため北・東日本は多雨で並照、西日本は高気圧に覆われる時期もあるため並雨で多照傾向。沖縄・奄美は湿った空気の影響を受ける時期があり、やや多雨傾向で並照。

200hPa速度ポテンシャル



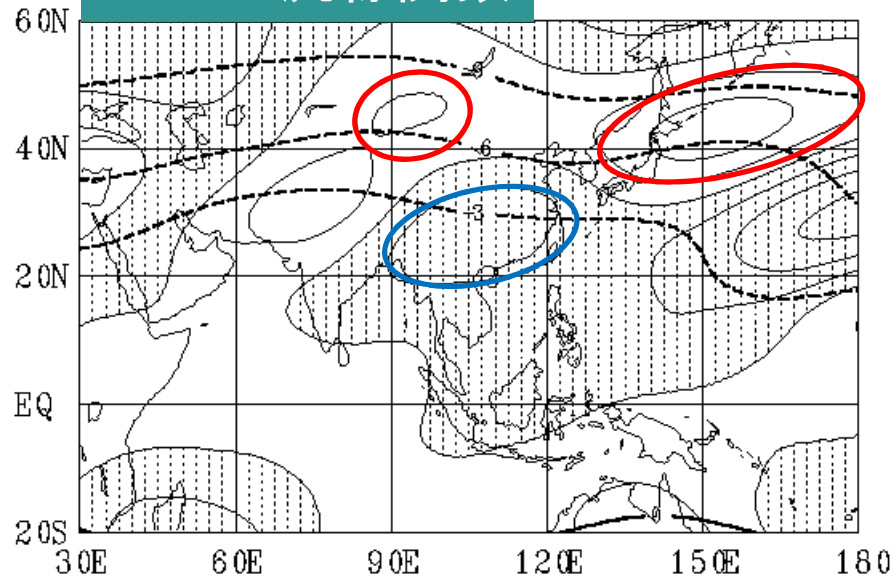
インド洋西部からベンガル湾にかけてと日付変更線の東を中心に上層発散偏差。

降水量



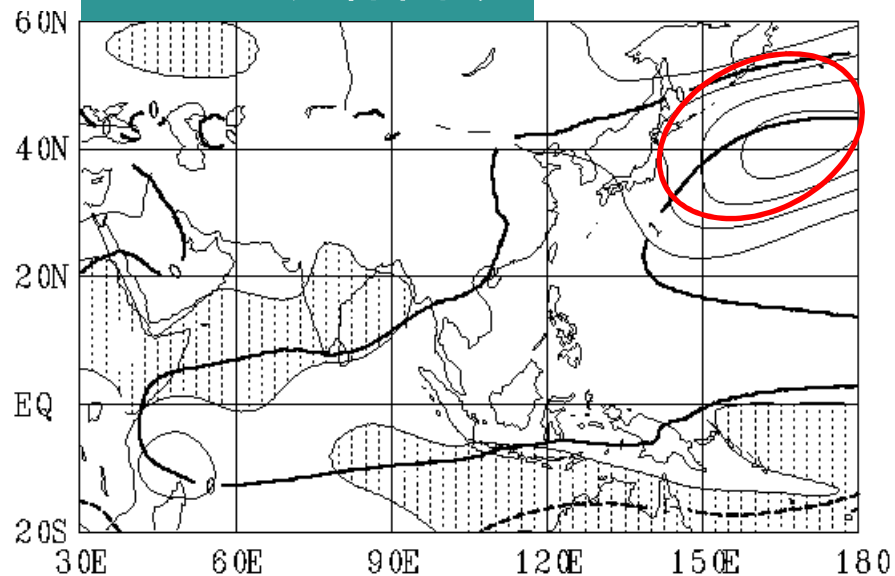
ニューギニア付近とベンガル湾で多雨偏差、フィリピン付近で少雨偏差。日本付近は東日本太平洋側を中心に多雨偏差。

200hPa流線関数



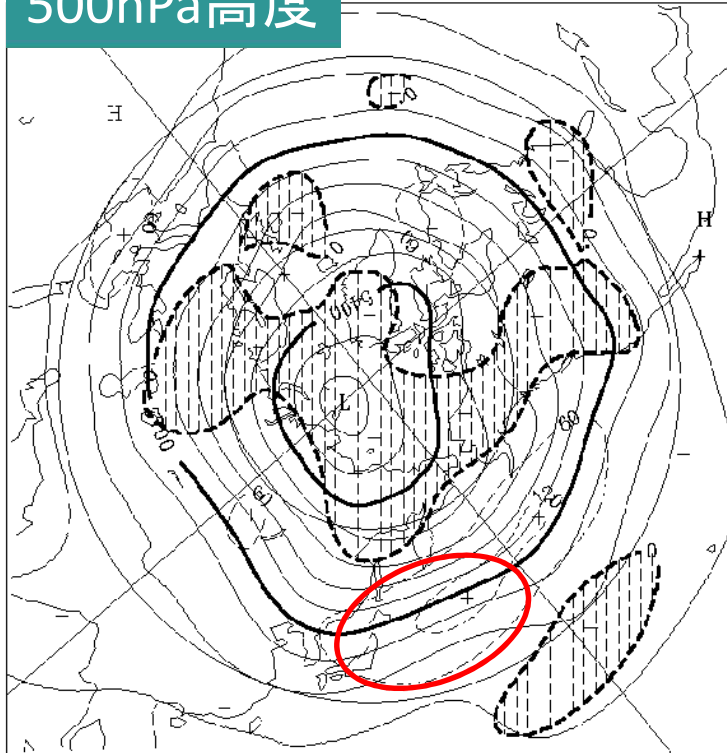
インドシナ半島の北から華南にかけて低気圧性循環偏差。中央アジアと日本の東は高気圧性循環偏差。

850hPa流線関数



日本の東は強い高気圧性循環偏差。

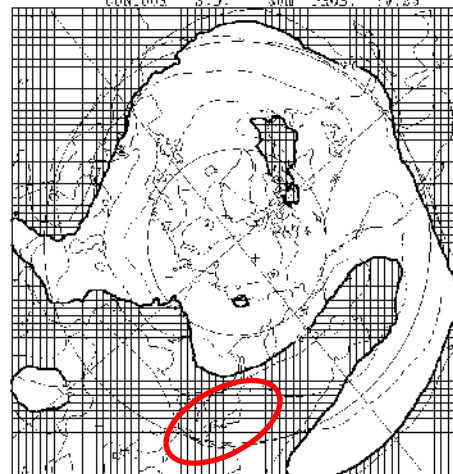
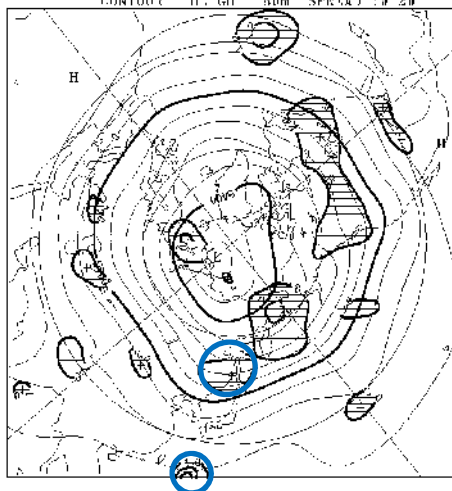
500hPa高度



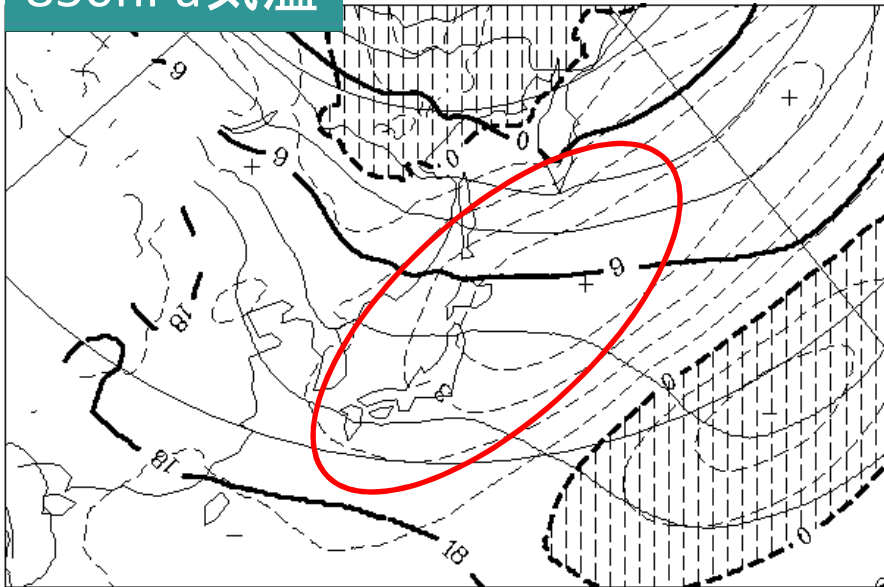
日本のはるか東は強い正偏差。
日本付近は西谷。日本の北と
南にスプレッドの大きい領域が
ある。日本付近は正の高偏差
確率の大きい領域に覆われる。

500hPa SPREAD AND HEIGHT

PROB. OF H. ANOMALY AND S.D.

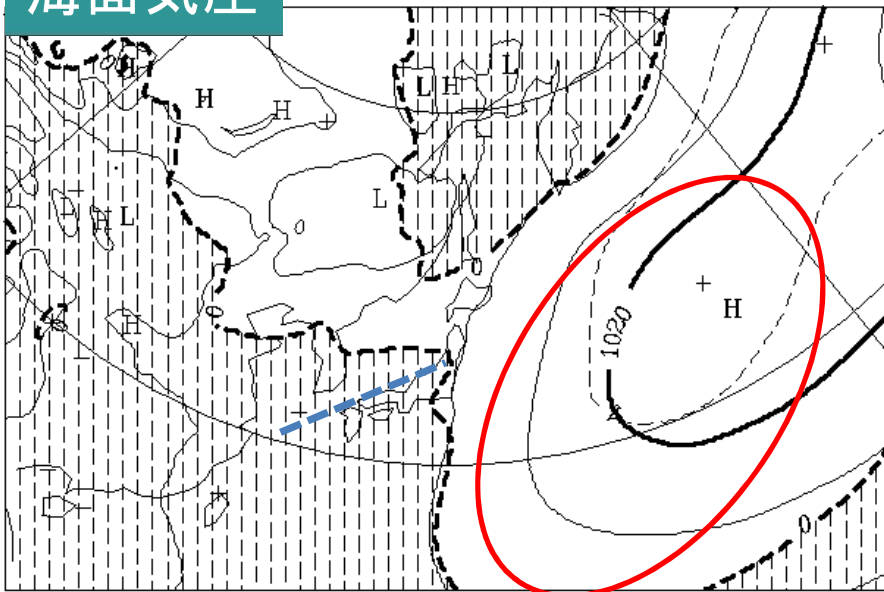


850hPa気温



北・東・西日本を中心に高温偏差に覆われる。

海面気圧



東・西日本は太平洋側を中心に前線や湿った空気の影響を受けやすい。沖縄・奄美は平年程度に湿った空気の影響を受ける。

想定される天候

- 北日本では、天気は数日の周期で変わるでしょう。
- 東・西日本では、天気は数日の周期で変わりますが、前線や湿った空気の影響を受けやすく、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
- 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

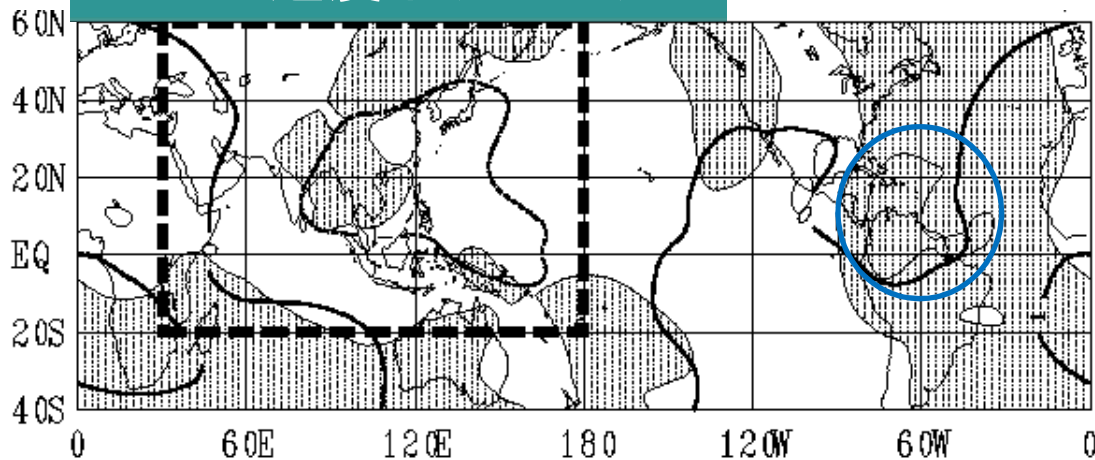
<気温>

暖かい空気が流れ込みやすいため、全国で高温。北・東・西日本では、気温がかなり高くなる見込み。

<天候>

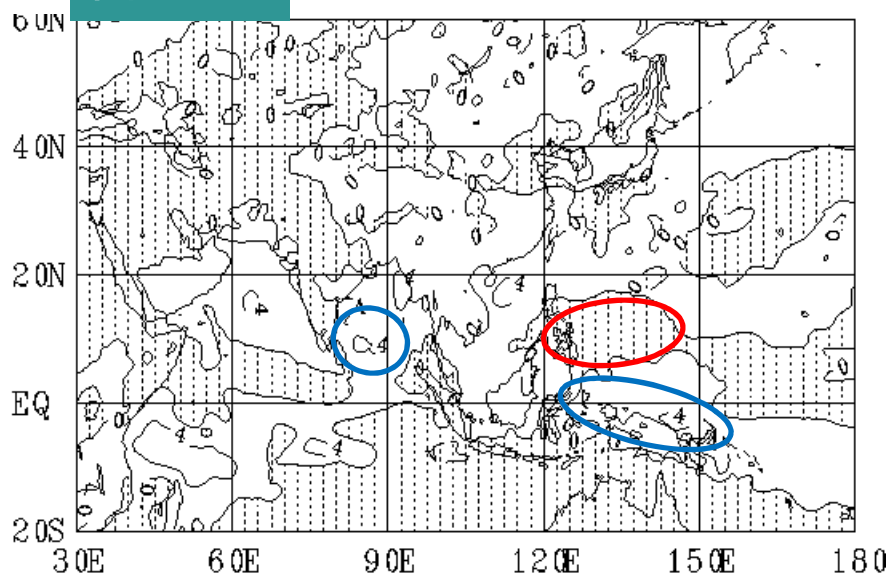
北日本は天気は数日の周期で変わり、平年と同様の並雨並照。東・西日本は太平洋側を中心に前線や湿った空気の影響を受けやすく、東・西日本日本海側は多雨で寡照傾向、東・西日本太平洋側は多雨寡照。沖縄・奄美は平年程度に湿った空気の影響を受けるため、並雨並照。

200hPa速度ポテンシャル



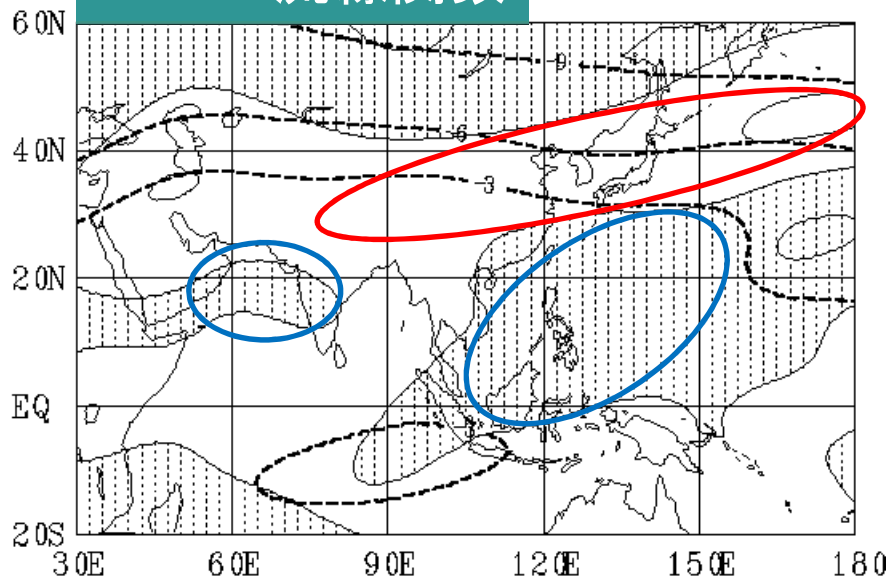
南米で上層発散偏差。

降水量



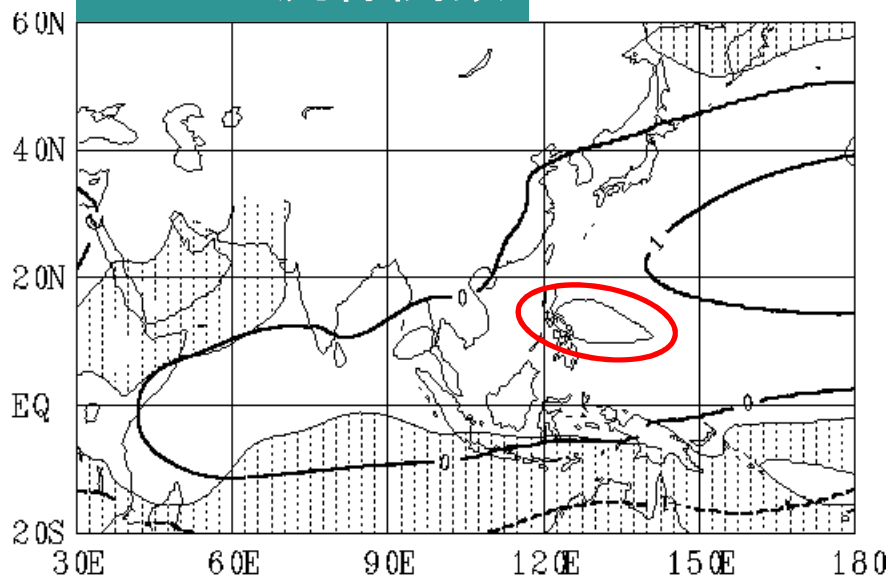
ニューギニア付近とインド洋の東で多雨偏差。フィリピンの東で少雨偏差。

200hPa流線関数



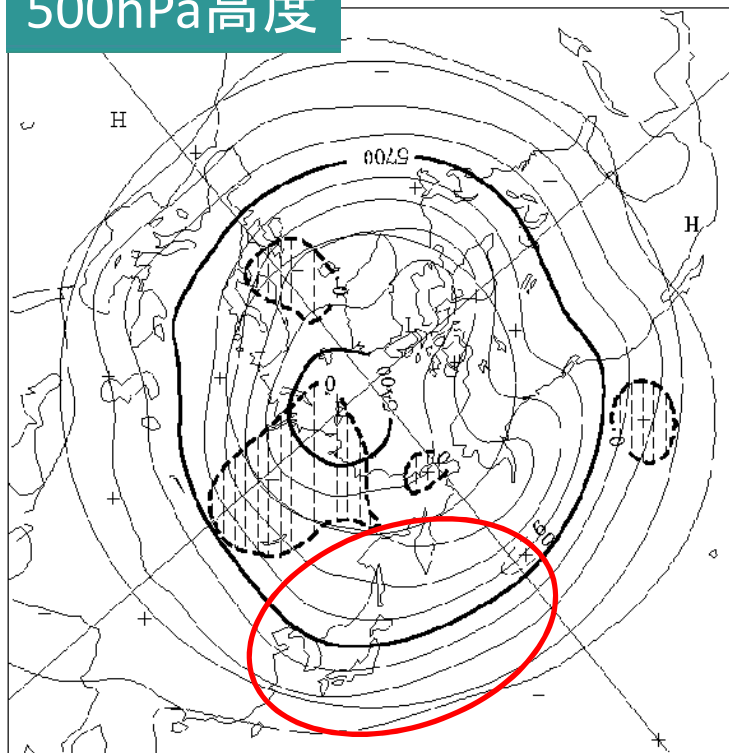
インドの西とインドネシアから日本の南にかけて低気圧性循環偏差。インドの北から日本のはるか東にかけて高気圧性循環偏差。

850hPa流線関数



フィリピンの東は高気圧性循環偏差。

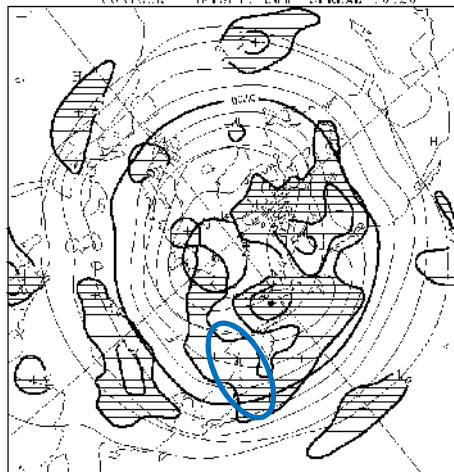
500hPa高度



日本付近は正偏差に覆われるが、北・東日本にはスプレッドの大きな領域が広がり、予測の不確実性が大きい。日本付近は正の高偏差確率の大きい領域に覆われる。

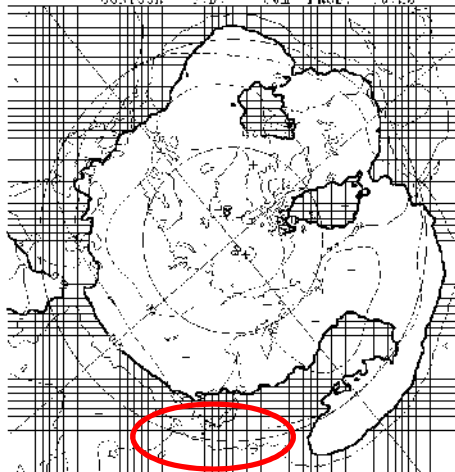
500hPa SPREAD AND HEIGHT

CONTOUR HEIGHT: 60m SPREAD: 0.20

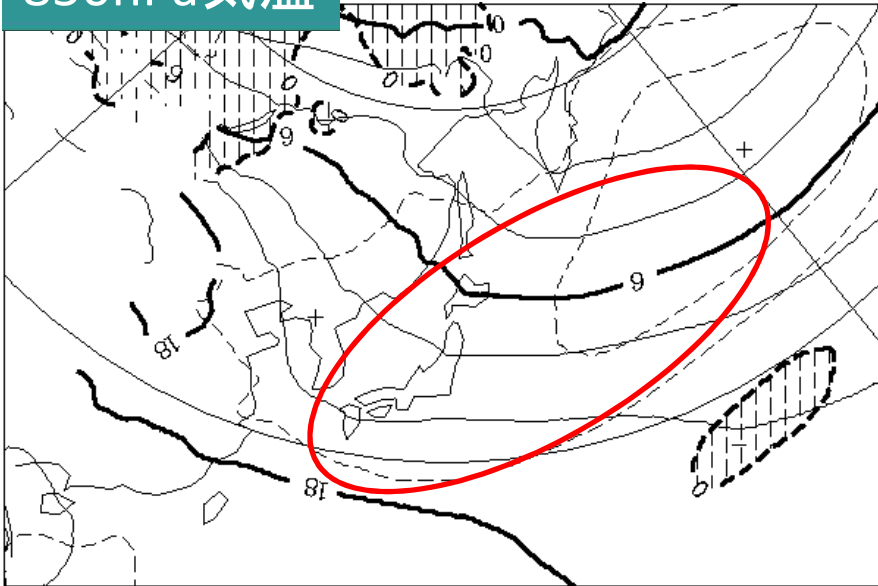


PROB. OF T. ANOMALY AND S.D.

CONTOUR S.D.: 20m PROB.: 0.25

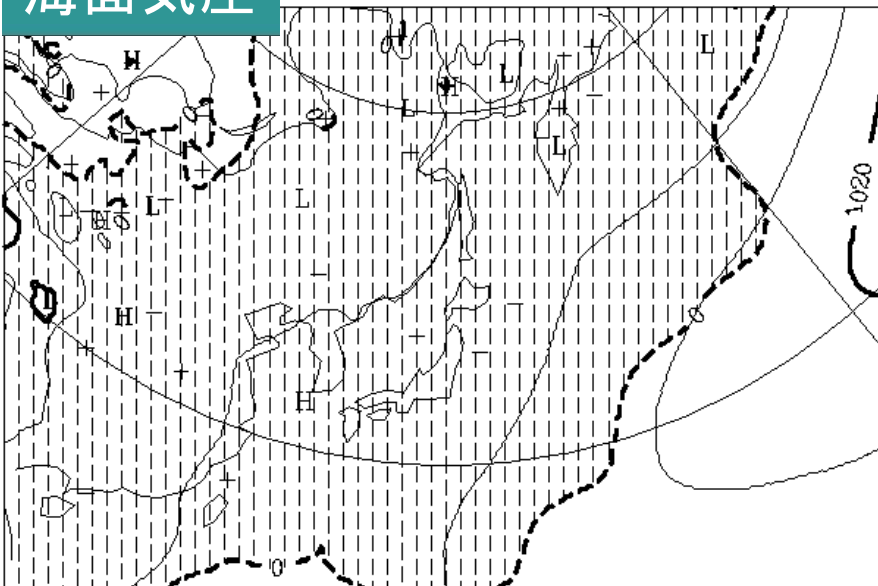


850hPa気温



日本付近は高温偏差に覆われる。

海面気圧



日本付近の等圧線の間隔が広く、天気は数日の周期で変わる見込み。

想定される天候

- 北・西日本と東日本太平洋側では、天気は数日の周期で変わるでしょう。
- 東日本日本海側では、天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。
- 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

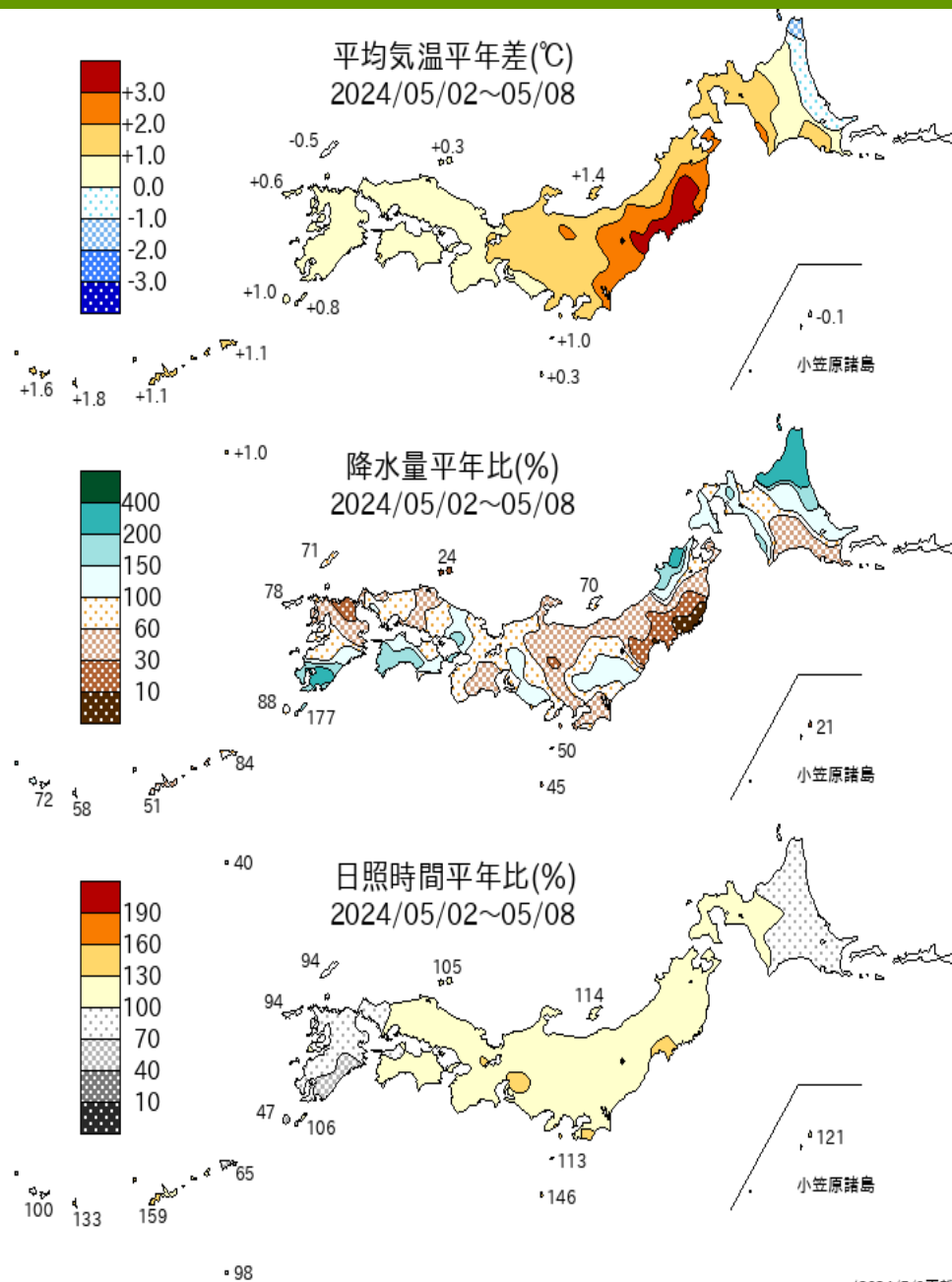
<気温>

暖かい空気に覆われやすく、全国で高温。

<天候>

全国で並雨並照。

最近1週間の天候経過



最近1週間(5月2日~5月8日)は、北日本を中心に高気圧に覆われて晴れた日が多くなりましたが、期間の終わりには北海道地方で低気圧通過後に寒気が入り、雪が降った所もありました。一方、西日本太平洋側では低気圧や前線の影響で曇りや雨の日もありました。気温は、暖かい空気が流れ込みやすかったため全国的に高く、真夏日となった地点も多くなりました。